七栗サナトリウム　広報誌

発行 2009年8月25日
第25号

ななくり

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集　発行人　園田　茂
〒514-1295　三重県津市大鳥町４２４番地の１　電話　059-252-1555（代表）
ホームページ　http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/　ＦＡＸ　059-252-1383

病院機能評価の認定(更新)を受けました

当院は平成16年6月に(財)日本病院機能評価機構による病院機能評価(Ver.4)の認定をうけておりました。その後5年間の認定機関が満了することに伴い平成21年2月に更新審査を受審し、平成21年7月3日付で病院機能評価(Ver.5)の認定証(更新)の交付を受けました。認定期間は平成21年6月21日から26年6月20日までの5年間です。当院では今後ともより良い医療を提供する為にさらに努力してまいります。

認　定　証
Certificate of Accreditation

認定第JC222-2号
Accreditation Number

審査体制区分3
(ver.5.0)
Assessment system division 3

病院名
Hospital Name
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム　殿
Fujita Health University Nanakuri Sanatorium

貴病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2009年6月21日～2014年6月20日
June 21,2009-June 20,2014

発行日：2009年7月3日
Issue Date : July 3,2009

財団法人 日本医療機能評価機構　理事長　井原　哲夫
Japan Council for Quality Health Care　Chairman of the Board　Tetsuo Ihara

※「病院機能評価」とは、一定の評価基準に基づき、財団法人日本医療評価機構が病院の機能及び医療の質について評価をおこなう制度で、病院の機能及び医療の質についての現状分析・把握と改善の機会を提供することを目的としています。

地域の子供たちとの交流会

デイ・ケア　介護福祉士　田中　ちひろ

梅雨入りし、毎日どんよりとした天気が続く6月の午後。
七栗デイケアフロアに子供たちの元気な姿と明るい歌声が溢れました。
この日は、“お楽しみ会”として津市立栗葉小学校6年A組の子供たち26人が利用者さまと交流を図るためにデイケアへやってきてくれました。
少し緊張した子供たちの始まりの挨拶の後、“世界に一つだけの花”“ふるさと”など優しい歌声やリコーダーでの演奏がフロアに響き渡りました。その子供たちの歌声に合わせて利用者さまも自然と口ずさんでおられました。利用者さまからは、素敵な歌声を聞かせてくれたお礼に「上を向いて歩こう」を演奏してくださいました。短い練習期間でしたが、歌声やタンバリンと鈴とカスタネットの音色が鳴り響きました。大成功です。
次は私たち介護福祉士による“体操のお姉さん”の登場です。「幸せなら手をたたこう」にのせたダンスの指導のもと、子供たちと利用者さまとが向かい合わせになりました。最初、子供たちはお年寄りとのふれあいに慣れないせいか少し恥ずかしそうな様子でしたが、手と手を合わせたり、肩と肩をたたき合ったりとリズムに合わせて踊っていくうちに自然と笑みがこぼれてきました。
最後に、利用者さまと一緒にケーキを食べながら、楽しいお話の時間です。
「歌上手やったよ」「ケーキおいしいな」「ジュースおかわりしておいで」など
楽しそうな会話や笑い声が聞こえてきました。
今後もこのような地域の方々との交流を図り、楽しいひとときを過ごせる機会を作り続けていきたいと考えています。

リウマチケア専門職制度の創設

内科学教授　松本美富士

医師をはじめとした医療職では、医療の高度化、複雑化、チーム医療の機能役割あるいは患者さまの期待度、満足度の高まりから、その医療職の国家資格に加えて、さらに付加的資格の必要とされることが一般的となってきました。現在わが国では規制当局により医師、歯科医師では「〇〇専門医」看護師では「〇〇認定・専門看護師」が公告可能な付加的医療資格です。これら以外に関連学会や団体が付加的資格の認定制度を行っており、たとえば〇〇認定・専門薬剤師、学会認定自己血採血看護師、超音波検査士や糖尿病療養指導士など多数あり、一部はこれら有資格者による業務が保険請求と密接に関連しているものもあります。医療機関によっては各職種の付加的資格取得を積極的に支援し、その資格取得を職位や給与に反映させています。それは医療機関の医療の質の担保となり経営に寄与するところがあるからです。

私が専門とするリウマチ分野でも医師の付加的資格があり、日本リウマチ学会がリウマチ専門医、日本整形外科学会が認定リウマチ医、日本リウマチ財団がリウマチ登録医といった専門職を制度化しています。このなかでリウマチ専門医が公告可能であり、当院もリウマチ診療を積極的に実践していますが、後者の2つの資格でも関節リウマチの先進的治療である生物学的製剤（レミケード、エンブレム、アクテムラ、ヒューミラ）の治療が実施でき、保険請求ができます。当院でもレミケードを中心とした生物学的製剤による先進医療を提供しているところです。

最近、さらに医師の付加的資格以外にリウマチケアに特化した専門職制度の創設の準備が進められています。リウマチ医療は集学的チーム医療であり、多職種がその役割に応じた医療・ケアを提供して初めてリウマチ患者様の全人的医療が実践でき治療効果のみならずADL、QOLの向上につながるからです。どの医療機関での入院・外来を通じてリウマチ患者様に最も近く、長時間接する職種が看護職であるため、まず看護師のリウマチケアに特化した専門職制度を(財)日本リウマチ財団(理事長:高久史麿)が2010年度スタートの日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師(仮称)制度の準備を進めています。その検討会の責任者に私が任命され看護職を含めた委員と定期的に検討をおこなっており、制度の規則、細則の作成まで作業が進み、日本看護協会との話し合いを経て、2010年4月スタートの予定です。この制度を今後、他職種(理学療法士、作業療法士など)にも拡大するとともに、この専門職によって療養指導がなされた場合にのみ[リウマチ性疾患管理加算」(仮)などの保険請求が可能となるように国にも働きかける予定で検討を進めています。この制度が発足しましたら、看護職がリウマチ患者さまに個別にきめの細かい療養指導が提供できます。

病院からのお知らせ

外来医師担当表

平成21年8月1日　現在

	月	火	水	木	金	土
内　科	松本教授	中野准教授	※1交代制	松本教授	中野准教授	※1交代制
外　科	東口教授	伊藤准教授	東口教授	村井医師	定本医師	児玉医師
リハビリテーション科	園田教授	近藤教授	岡崎講師	前田医師	※2園田教授	※3交代制

※1　内科　水・土曜日は松本教授・中野准教授が交代で診察します。
※2　園田教授不在時は岡崎講師
※3　リハビリテーション科土曜日は1週目：平野医師、2週目：水野医師、3週目：成田医師　4週目：平野医師、5週目：水野医師が交代で診察します。

七栗リハビリテーションセミナーのご案内

日時：平成21年9月11日（金）18時30分から20時
場所：三重県男女共同参画センター　多目的ホール
内容：地域につなぐリハの実践～責任をもってつなぐために～
講師：小倉リハビリテーション病院リハビリテーション部
　　副部長　小泉幸毅先生
お問合先：藤田保健衛生大学七栗サナトリウム七栗リハビリテーション研究会
　　担当　寺西　TEL059-252-1555　Fax059-252-1383

七栗緩和ケアセミナーのご案内

日時：平成21年9月12日（土）14時から16時30分
場所：三重県総合文化センター　多目的ホール
内容：一般演題3題
　　特別講演「がん疼痛緩和症例をおう」
　　講師　有賀悦子先生（帝京大学医学部内科学講座緩和医療科帝京がんセンター/医療情報システム研究センター准教授）
お問合先：藤田保健衛生大学七栗サナトリウム　TEL059-252-1555

職員募集のお知らせ

藤田保健衛生大学七栗サナトリウムでは「医師」「看護師」「介護福祉士」「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」を募集しています。
お気軽にお問い合わせください。
詳細・お問い合わせ先は
〒514-1295　三重県津市大鳥町424番地の1
　　七栗サナトリウム　業務課人事担当　　下村優子
　　電話　059-252-1555（代表）　FAX　059-252-1383